

休止中の活動は、皆様のご意見を参考に再開します

NPO法人 タウンサポート鎌倉今泉台理事長 丸尾恒雄

新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年4月7日緊急事態宣言が発令され、5月26日解除されたとはいえ、未だ不安を抱えて行動しなければならない状態が続いております。我々のNPO法人もいづみサロンの4月～7月閉鎖、文化祭、マルシェ、リビングラボの中止、屋外の菜園事業、緑の保全事業等は密にならないように心掛け活動しておりますが、この状態が何時まで続くのか心配です。

NPO法人の重要事項を決める理事会も、4月～6月迄閉会してメール交換による討議・審議を主体にしていましたが、7月14日(火)には再開し、今後の運営について話し合う予定です。各種事業の再開に当たっては、会員の皆様からのご意見を聞き参考にしたいと思っております。皆様には当分の間コロナ対策には充分気を付けて戴きますようお願い申し上げます。

皆さまの憩いの場

いづみサロン

**水・木・金・土
カフェオープン**

午後1時～4時



散歩の途中にどうぞ

**★カフェ休業中
再開後お待ちします**

■NPO法人TSKI | 第5回通常総会

～書面表決書・委任状、による表決で承認



＜ソーシャルディスタンスでの総会＞

令和2年5月24日(日)いづみサロンに於いて第5回NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台の通常総会が開催されました。今回は新型コロナウイルスの感染を避けるため、表決権を有する正会員全員に総会資料を事前配布し、書面表決書・委任状(投票方式)で参加して戴きました。当日は議長、議事録署名人、審議事項について説明するメンバー(理事、監事等)5名の計7名の最小人数で開催され、消毒、マスク着用、換気、間隔を空けての着席等の感染対策を実施しました。議事進行はこれまで通り、柳井昭彦会員を議長に選出し、正会員総数75名、書面表決提出者72名、未提出者3名で過半数を超え総会は成立致しました。続いて【第一号議案・令和元年度事業報告】、【第二号議案・決算報告書】、【第三号議案・令和2年度事業計画】、【第四号議案・活動予算書】、【第五号議案・令和2年度役員監事承認】について丸尾理事長、松岡会計担当理事から説明が有り、書面による賛成65名、委任7名、一部分反対2名で全議案承認されました。本来なら会員の皆さんとの活発な質疑応答などが行われるのですが今回は書面にご記入して戴いたご意見、提案などについては、真摯に検討し後日回答致したいと思っております。(丸尾)

■いづみサロン草刈り

～生い茂った笹に苦戦

いづみサロン前庭で、笹などの雑草が伸び放題、見苦しい風景になっていました。そこで、6月7日(日)午前中、都合の付く理事・監事が集合、草刈りに挑戦。生い茂った笹は手強く、剪定鋏で少しずつ切っていく難作業。しかし途中から園芸用バリカンが加わった事で、急遽作業がはかどり、何とか昼前には刈り終わりました。中には翌日腰痛という参加者も。(吉川)



■6月空き家調査実施中

～今泉台のまちづくりに資する



<空き家の保存状態などの確認作業>

例年通り6月を空き家調査月間として本年度も実施中です。今泉台2000戸を5人の調査員で手分けして、くまなく歩き全戸を確認致します。実施内容は空き家の確認と共に外観から建築年、保存状況の程度を目視確認しリスト化し、調査結果を基に持ち主にアンケートを送り持ち主の意思確認を行っております。空き家調査は利活用の検討を目的としており、今泉台町内会、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台、横浜国大、鎌倉市で構成している「継続居住研究会」に資料を提供し、今泉台のまちづくりの検討に役立たせております。昨年度は、空き家82戸、空き地42区画でしたが本年度は若干増えている感じがしており、結果は9月末には報告出来るものと思っております。(丸尾)

■初夏 緑の保全活動 ～雑草抜き・清掃&ミニ剪定

アジサイが咲き始める夏陽気の中、さわやかセンター往復路、通学路である今泉台6～7丁目の湖畔道路沿いの街路樹、アジサイ回りの雑草抜き、枯葉清掃、街路樹のヒコバエ剪定を行いました。3回に亘り各2時間程、延べ10名が参加。今回は呼び掛けに応じて遠路1丁目、山ノ内の方も駆けつけ3密を避けて稍会話も少なく実施。残材は菜園の堆肥に、空缶他ゴミ2Lも回収しました。現在は園芸用アジサイが多く見栄えは良いのですが、今後の手入れの手間と歩行安全も配慮し成長が遅く形も小型のヤマアジサイに植え替え中です。散策の方々の感謝の言葉と共に“心身共に解放され免疫力向上が出来た！”と参加者の声。今後も7月には花後の剪定作業等を致しますので、皆様もご参加頂ければ交流も深まります。(御法川)



<湖畔トンネル下～公園正門の清掃>

■事業紹介 鎌倉リビングラボ ～暮らしを豊かにする商品開発活動など



<新商品テレワーク家具>

リビングラボとはまちの主役である皆さん(生活者)が、暮らしを豊かにするためのサービスやものを生み出したり、より良いものにしていく活動です。「鎌倉リビングラボ」は東京大学、各企業、今泉台町内会、鎌倉市(協力)が呼びかけ役となり、NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台が実務(参加者募集等)を行うものです。これまでに、今泉台の皆さんの参加により、AIスピーカー、IoT家電など15件を超えるテーマに取り組んできましたが、その中でイトーキのテレワーク家具が商品化されました。この活動が評価され「プラチナ大賞優秀賞」を受賞。またリビングラボ活動が盛んなスウェーデンのカル16世グスタフ国王陛下、王妃陛下が来日時に今泉台の鎌倉リビングラボの活動を視察にお見えになりました。

鎌倉リビングラボは主に今泉台在住の方々にモニター登録をしていただき、その都度テーマによって変わる条件を満たした方に声をおかけします。参加者の方から「自分が開発に関わった商品が世に出るのが楽しみで、やりがいを感じる」との声が多数聞かれます。

現在はコロナ禍で活動はほとんど休止中ですが、この活動に参加ご希望の方はぜひご連絡ください。

(お問い合わせ先44-6079青木)